

1. 子どもゆめ基金助成活動 岩手しぜんとあそぼ「遊びの広場 in 釜石 2016」
2. オートキャンプの楽しみ
3. 日本キャンプ協会設立 50 周年記念事業「キャンプ白書 2016」より
4. お知らせ

1. 岩手しぜんとあそぼ「遊びの広場 in 釜石 2016」

平成28年12月11日(日)、午前10時～午後1時、標記の事業がJR釜石駅前にある「シープラザ遊(三角テント)」で、盛大に開催されました。趣旨は、次の2点です。①東日本大震災津波の影響などから児童生徒が運動不足による肥満傾向にあることや、遊び場が少なくなった現状に鑑み、被災地支援と子どもの体験活動の一環として、児童生徒が夢と元気を取り戻せるように、楽しみながら様々な活動にチャレンジできる体験活動の場を提供します。②子どもや保護者に、自然体験や生活体験の楽しさや達成感を実感してもらうとともに体験活動推進の機運を釜石市及び周辺市町村に高めていきます。



主催は、アウトドアチャレンジ岩手県実行委員会で、この委員会の構成団体は、NPO法人岩手県レクリエーション協会・日本ボーイスカウト岩手連盟・岩手県キャンプ協会・岩手県シェアリングネイチャー協会・国立岩手山青少年交流の家・ガールスカウト岩手県連盟・NPO法人盛岡YMCAで、共催は、日本ボーイスカウト岩手連盟、日本ボーイスカウト沿岸地区協議会、日本ボーイスカウト釜石第2団、フットケアサークル釜石「パナケイア」です。釜石市教育委員会の後援をいただいて実施いたしました。

チラシを2,000枚作成し、釜石市・大槌町の小学校、幼稚園、保育所、公民館等を中心に配付しPRしました。事前の申し込みは不要で、当日受付でエントリー。参加者は、自由にいろいろなプログラムにチャレンジしました。用意したチャレンジプログラムは、次の通りです。



岩手県シェアリングネイチャー協会・国立岩手山青少年交流の家・ガールスカウト岩手県連盟・NPO法人盛岡YMCAで、共催は、日本ボーイスカウト岩手連盟、日本ボーイスカウト沿岸地区協議会、日本ボーイスカウト釜石第2団、フットケアサークル釜石「パナケイア」です。釜石市教育委員会の後援をいただいて実施いたしました。

チラシを2,000枚作成し、釜石市・大槌町の小学校、幼稚園、保育所、公民館等を中心に配付しPRしました。事前の申し込みは不要で、当日受付でエントリー。参加者は、自由にいろいろなプログラムにチャレンジしました。用意したチャレンジプログラムは、次の通りです。

(1) 競技種目

- ① 豆つかみ
- ② 竹馬でタイムトライアル
- ③ 丸太切り競争
- ④ タオル絞り
- ⑤ マッチの達人
- ⑥ 缶釣り大会(以上BS担当)
- ⑦ チャレンジ・ザ・ゲーム大会: スピード・ラダーゲッター
- ⑧ デイスゲッター
- ⑨ スピード・チャンバラ
- 他(以上レク協会担当)

(2) 体験・工作プログラム

- ① けん玉教室(日本けん玉協会 佐藤周二7段 担当)
- ② ツリークライミング
- ③ 綿あめ作り
- ④ ピザ作り
- ⑤ ロープ結び体験
- ⑥ 防災折り紙
- ⑦ 飲み物コーナー(以上BS担当)
- ⑧ テントの張り方、寝袋・ハンモック・ベッド体験、自然体験ゲーム(キャンプ協会担当)
- ⑨ 健康チェック
- ⑩ ハンドマッサージ他(パナケイア担当)

キャンプ協会からは、テント設営のほかに次のような楽しい体験活動を提供しました。

<葉っぱの神経衰弱>

いろいろな木や草花の葉を2枚1組で多数ラミネートし、それを活用してトランプの神経衰弱の要領で、同じ葉を2枚見つけると自分のカードとしてゲットできます。ゲットできたら、続けて挑戦できます。最終的には、すべてのカードが引き当てられますが、どこにどんな葉があるか覚えている子は、次から次へと連続してゲットする機会が多いので、後半戦が見ものです。一人でも楽しめるゲームですが、2人以上の対戦相手があった方が盛り上がりやすくなります。参加していたボーイスカウトの子や幼児は、何回も挑戦しに来て楽しんでいました。



いろいろな木や草花の葉を2枚1組で多数ラミネートし、それを活用してトランプの神経衰弱の要領で、同じ葉を2枚見つけると自分のカードとしてゲットできます。ゲットできたら、続けて挑戦できます。最終的には、すべてのカードが引き当てられますが、どこにどんな葉があるか覚えている子は、次から次へと連続してゲットする機会が多いので、後半戦が見ものです。一人でも楽しめるゲームですが、2人以上の対戦相手があった方が盛り上がりやすくなります。参加していたボーイスカウトの子や幼児は、何回も挑戦しに来て楽しんでいました。

<ベット・ハンモック・寝袋>

一方、テントの中では、ハンモックやベッドで遊ぶ子どもや、寝袋の中に潜り込んで、

「あったかーい！」と言って心地よく眠りそうになる子どももいました。姉妹で一つの寝袋に入って楽しんだ子もいました。ハンモックを気に入った子は、やはり何回も繰り返

返し、ゆらゆら揺れる感覚を楽しんでいました。指導していた当協会の小笠原副会長も、子どもたちの喜ぶ姿に満面の笑みでこたえ、何度も対応していました。

また、今回は、今年新しくインストラクターに合格して会員になった盛岡医療福祉専門学校の学生2人もボランティア参加し、一緒に活動しました。「葉っぱの神経衰弱」を指導していた竹居さんと國久さんです。子どもたちと関わり、楽しみながら指導する貴重な経験を積むことができました。事業に参加していろいろな経験を積むことで次の上級資格への挑戦もできるようになります。2人は、今後、他の事業にも参加したいと話していました。この経験のよさを、学校で広めてくれることでしょう。

親子で参加していた方々の中には、テントやキャンプ用品購入のアドバイスを求めてくるお父さんお母さんもいて、その都度、日本キャンプ協会から提供していただいた「安全についての冊子等」を渡し、説明をしながら要望にこたえました。団体指導者の中には、担当する子どもの人数分の小冊子をいただいて帰る人もいました。

紙面をお借りして日本キャンプ協会にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

事業終了間際には、ビデオ撮影した一般の方から、とても良い活動なのでテレビ局の「ビデオだより」に投稿することを許可してほしい旨のお話をいただきました。正月になってからでしたが、実際に「ビデオだより」という番組で子どもたちが楽しく活動している様子がテレビ放映されました。

この事業に関係したスタッフや参加して下さった皆様に深く感謝申し上げます。(文責：澤村)

4. お知らせ

①大船渡の碁石海岸インフォメーションセンターから、バーベキュー講座の講師依頼が届いています。

②来年度のインストラクター養成講習会の理論編を盛岡医療福祉専門学校にて開催する予定です。

(事務局：澤村 090-5182-2444)

2. オートキャンプの楽しみ

キャンピングカーを持ち、オートキャンプを楽しんでいる高野さんから、その魅力について伺いました。(高野氏は、以前から当協会にもオートキャンプ部会を作りたいと話しており、いろいろなキャンプ場を訪ねて良さを味わっています。)

◎オートキャンプの魅力

1. 施設が整っています！

(水洗トイレ、シャワー室、場所によっては温泉施設や売店、レストランなど)

2. 家電用品が使えます！

(電源設備があるので照明や携帯の充電など、電子レンジ、炊飯器など)

3. なんとと言ってもテントの近くに車を駐車できます！

(荷物が多いとき、子供の着替えとか車に置いておけます。)

4. 非常時にすぐ車に避難できます！

(大雨や雷雨のときなどの避難に)

5. 手ぶらでキャンプができます！

(多くのオートキャンプ場ではレンタルが充実しているのでキャンプ用品がなくても気軽にキャンプができます。要予約)

※ オートキャンプ場はキャンピングカーでなければ使えない訳ではありません。

普通車(軽)でも利用できます。

※ 車の駐車スペースの横にテントサイトがあるので比較的初心者でもキャンプを楽しめるとおもいます。特に女性などが気にする水回り設備がキレイですのでキャンプが初めてのファミリーでも安心だと思えます。

◎キャンプ場情報

私(高野氏)は、昨年から北上のオートキャンプ場をホームベースにしています。オーナー手作りのキャンプ場で、ちょくちょく遊びに行ってますよ。詳しくはキャンプグランドベアーベルのホームページを見てみてください。<http://www.kitakami-ac.com/>



information
 碓氷海岸キャンプ場ご案内

●開場期間
 ◎キャンプ車：GW 及び 7月中旬から10月末日
 ◎普通車：開場は10月インフォメーションセンターまで

●チェックイン/アウト
 ◎チェックイン：12:00～17:15
 ◎チェックアウト：8:30～11:30

●管理費 (小学生以上)
 ◎500円 (2名以上1名につき)

●宿泊 (1泊につき)
 ◎オートサイト (1区画) 4,000円
 ◎フリーサイト (20㎡以上) 1,500円

●デイキャンプ (1日限り)
 ◎オートサイト (1区画につき) 2,000円
 ◎フリーサイト (1区画につき) 1,000円

●トイレ・シャワー棟
 ◎水洗トイレ(朝晩利用) 1回 (5分以内) 500円
 ◎シャワー 1回 500円

●販売品
 ◎お弁当(1食) 500円
 ◎お菓子(1袋) 300円

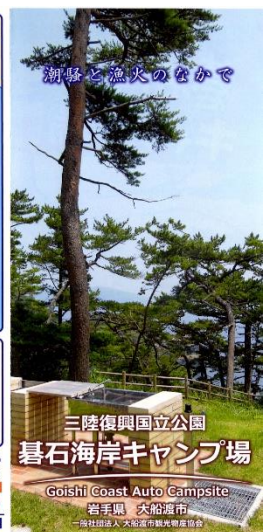
●レンタル品 (1泊につき)
 ◎ 寝袋 1,000円
 ◎ 寝具 500円
 ◎ 焚火台 500円
 ◎ 焚火 500円
 ◎ 焚火油 500円
 ◎ 焚火油 500円
 ◎ 焚火油 500円

詳しくは碓氷海岸インフォメーションセンターまでおたずねください。

Access map
 碓氷海岸キャンプ場のアクセス

碓氷海岸キャンプ場ご利用について
 ① 緊急として避難や救急が必要な場合は必ずお知らせください。
 ② 花火の燃焼は火災予防のため禁止となります。
 ③ キャンプ場内や管理施設内は禁煙となります。
 ④ キャンプサイト内のベント等は燃焼禁止となります。
 ⑤ オートサイト駐車場(入りきらぬ場合は)の有料駐車場があります。
 ◎ゴミ、焼酎、空き缶等は必ずしも管理施設へお持ち帰りください。
 ◎お車 1台は必ず管理施設の指定場所で駐車してください。
 以上、ご協力をお願いします。

碓氷海岸インフォメーションセンター
 〒012-0001 岩手県大船渡市碓氷海岸
 キャンプ場の予約 本場直営
 tel:0192-29-2359
<http://www.sanniku-ofunato.jp> 受付時間 8:30～17:15



これは、昨年お世話になった碓氷海岸キャンプ場のパンフレットです。フリーサイトは、一般のキャンプ場ですが、オートサイトには、個々に駐車スペースと炊事施設(水回りを含む。)があり、更に共同で使用する水洗トイレとシャワー室が完備されています。また、近くには、インフォメーションセンターがあり、物品の貸し出しや、バーベキュー食材の提供などもしてくれます。

3. 日本キャンプ協会設立 50 周年記念事業「キャンプ白書2016」より

第1章 組織キャンプの実態から、キャンプをする理由

「あなたは、なぜキャンプをするのですか？」という設問に対する自由記述による回答の中から、主な回答ベスト3です。

1 キャンプの効果への期待 94/293

- ① コミュニケーション力、協調性や感性を育てる、失敗から学ぶ体験活動、サバイバル技術 など
- ② キャンプの中には、人を育てる要素がたくさんあるからです。
- ③ 非日常の中で得られる経験が重要であると思うから。
- ④ 子供をはじめとする人たちにキャンプが必要であると思う。
- ⑤ 災害時など緊急時に生き延びるための一つの手段を身に着けることができるものと思っています。
- ⑥ キャンプを通して参加者の相互理解を深めるため。
- ⑦ そこでの体験の共有、共感体験が深い信頼関係を築けると感じる。
- ⑧ こころのゆとりをとりもどすため。
- ⑨ 日常から離れて非日常の自然の中で「心身」のリフレッシュを図りたいから。

2 自然との関わり 46/293

- ① 自分らしく居られる環境が自然の中にあるから。
- ② その自然を満喫するにはそこで生活するのが一番。
- ③ 人間が自然の一部であることを感じるため。
- ④ 自然の中で、おかれた環境や出来事に創意工夫で対応する生活を楽しむ。
- ⑤ 人間は自然に生かされ自然と共に生きているからです。

3 青少年教育のため 38/293

- ① 自然が大好きで、自然の中で心豊かになれることをたくさんの方々に伝えていきたいからです。
- ② 都会生活ばかりの子供に向けて、自然、里山生活をする体験を通じて、気づき学びを得てもらえる為
- ③ 野外での衣食住の技術を身に着け、この国、この世界の将来を担う子供達に伝えて行くことは、大変重要なことで、キャンプ指導を通じて次世代へ繋いでいくためにキャンプをしています。
- ④ 人とのふれあい 特に子供達と！ キャンプをした後、子供達と会うと愉しかったことを覚えてくれていて、また行きたいという言葉を知ると嬉しい。

第3章 キャンプに関する各種データ 2. キャンプの効果

2-1 家族キャンプに対する保護者の意識

キャンプ体験による子供の意識や行動の変化

- ① 自然への興味・関心が高まった (40.9%)
- ② 好奇心旺盛になった (40.5%)
- ③ 料理への興味を持つようになった (26.1%)
- ④ 親子の仲が更に良くなった (21.2%)
- ⑤ 生物や物を大切に扱うようになった (20.1%)

家族キャンプで子供に身につけてほしいこと

- ① 自然体験から身に着く判断力、環境適応力と危険回避力 (74%)
- ② 外で遊ぶ、身体能力の向上 (60.1%)
- ③ 生物や自然に対する思いやりの心、道徳心 (55.3%)
- ④ 自分一人でやり切る力、自主性 (51.9%)
- ⑤ 自然の大切さや生命の尊さを重んじる、感動する心 (49.5%)



矢巾町営キャンプ場にて